

# 戦時下『南方』邦字新聞文芸資料 追加

## A Study of Japanese Newspapers in Southeast Asia under Japanese Occupation: Additional References

奥出 健

Okude Ken

一九九五年三月刊行の『創造と思考』（湘南短期大学国文学会発行）五号に「戦時下『南方』邦字新聞文芸資料」なる一文を寄せたことがある。そこで当時国立国会図書館に所蔵の『マニラ新聞』、『ビルマ新聞』、『セレベス新聞』、『ジャワ新聞』、『ダバオ新聞』、『ボルネオ新聞』、『昭南新聞』、『南洋毎日新聞』、『南洋新報』の確認し得た文芸記事の部分だけを発表した。きわめて散逸のはげしい占領下の新聞ゆえ、とにかく見つけ次第発表していくしかないのであるが、その後二〇〇四年にアメリカの議会図書館（在ワシントンDC）に行く機会にめぐまれたので、そこで南方邦字新聞を調べてみた。その結果おそらく戦時下邦字新聞と推測しうるタイトルがヒットしたので、その何点かをここで記しておく。

『盤谷日報』（1945・5・19）（この時点で962号 6・5のみ バンコック）、

『マニラ日日新聞』（1941・3月27日のみ マニラ）

この二紙については存在を確認するにとどまった。散逸がはげしく、文芸記事を採取する部分もなかった。

なおこのほかにPontianak（町の名称）から出ていた『Seibu Borneo shimbun』というタイトルのものもあったが、出版元は大日本海軍民生部であり、いわゆる正統な新聞ではないと考えられる。しかも散逸が激しい。

しかし若干の新聞においては、すでに一九九五年で一部発表してあるものの、その時点では散逸しており、今回の調査でその散逸部分が確認できた記事があるので、ここで記しておくことにする。とくに『ビルマ新聞』が収穫であった。（\*）は前回発表の記事である。ただし今回の記事採取では前回よりも詳しくタイトルを取ってある。

『ビルマ新聞』

(昭和一八年一月一蘭貢(ラングーン) スパークス街 ビルマ新聞社)

キン・ママ夫人(随)

水木洋子

昭和18年1月1、3、5日

聖戦二年の新年(歌)

岡 麓

昭和18年1月1日

新年五句(俳)

室生犀星

昭和18年1月1日

軍神につゞけ(詩)

高村光太郎

昭和18年1月5日

軍神につゞけ(歌)

佐佐木信綱

昭和18年1月7日

一樹の蔭(随)

大谷智子

昭和18年1月8日

軍神につゞけ—新田義貞(歌)

土屋文明

昭和18年1月9日

軍神につゞけ—墓穴は掘らず(歌)

斉藤 瀏

昭和18年1月12日

軍神につゞけ—ひととせ(歌)

吉植庄亮

昭和18年1月13日

軍神につゞけ—信州の三春(歌)

白田亜浪

昭和18年1月14日

空爆の路上にて(随)

水木洋子

昭和18年1月16日

軍神につゞけ—霜晨(詩)

三好達治

昭和18年1月17日

軍神につゞけ—戦場に(詩)

室生犀星

昭和18年1月19日

軍神につゞけ(歌)

窪田空穂

昭和18年1月20日

軍神につゞけ—軍人頌(俳)

飯田蛇笏

昭和18年1月21日

防諜標語—軍機の敵は酒と女だ(標語)

高見 順

昭和18年1月22日

軍神につゞけ—必ず勝たむ(歌)

斉藤茂吉

昭和18年1月22日

軍神につゞけ—一年の甞音(歌)

富安風生

昭和18年1月24日

軍神につゞけ—みいくさのために(歌)

川田 順

昭和18年1月26日

軍神につゞけ—大阿蘇(詩)

蔵原伸二郎

昭和18年1月28日

軍神につゞけ—戦果の蔭に(歌)

逗子八郎

昭和18年1月29日

軍神につゞけ—山の鉦女ら(歌)

山口青屯

昭和18年1月30日

ビルマの旅(随)

水木洋子

昭和18年2月2、4、13、20日

軍神につゞけ—吉田松陰先生(俳)

中塚一碧楼

昭和18年2月2日

軍神につゞけ—霜に誓ふ(俳)

長谷川かな女

昭和18年2月3日

- ビルマの朝―野戦抄 (小説)  
 軍神につゞけ―祖先の血 (歌)  
 なさけ―野戦抄 (小説)  
 前線勇士を想ふ (詩)  
 軍神につゞけ―われらの決意 (俳)  
 軍神につゞけ―爆撃機を我家とせん (詩)  
 軍神につゞけ―陸に海に空に (詩)  
 軍神につゞけ (詩)  
 軍神につゞけ―銃後 (歌)  
 軍神につゞけ―高丘親王 (詩)  
 神兵―野戦抄 (小説)  
 軍神につゞけ―雄鶏のうた (詩)  
 軍神につゞけ―部署を祈る (詩)  
 日立鋌山を訪ねて―前線へ送れ― (レポ)  
 パーモ長官一行を迎へる (詩)  
 五十音唱歌 (詩)  
 東京芝浦電気川崎工場訪問―前線へ送れ― (レポ)  
 函館船渠にて―前線へ送れ― (レポ)  
 軍神につゞけ―空の牧野中佐 (詩)  
 母国に帰りに―帰還作家の回顧 ビルマ人の態度  
 日立兵器水戸工場を訪ふ―前線へ送れ― (レポ)  
 母国に帰りに―帰還作家の回顧 麗はしい死顔  
 母国に帰りに―帰還作家の回顧 故園  
 OO機会社を訪ねて―前線へ送れ 油と鉄と火花  
 母国に帰りに―帰還作家の回顧 親日少年への手紙  
 八幡製鉄所を訪ねて―前線へ送れ 名にし負ふ八幡  
 母国に帰りに―帰還作家の回顧 ビルマへの思慕  
 ガンジーの断食―死の抗英へ (随)
- |       |                      |
|-------|----------------------|
| 柳山 潤  | 昭和18年2月3、4日 (*)      |
| 松村英一  | 昭和18年2月4日            |
| 小田嶽夫  | 昭和18年2月14日 (*)       |
| 竹中 郁  | 昭和18年2月17日           |
| 伊東草月  | 昭和18年2月18日           |
| 西条八十  | 昭和18年2月20日           |
| 室積徂春  | 昭和18年2月23日           |
| 尾崎喜八  | 昭和18年2月25日           |
| 渡辺水巴  | 昭和18年2月26日           |
| 川路柳虹  | 昭和18年2月28日           |
| 里村欣三  | 昭和18年3月3、4、7、13日 (*) |
| 笹沢美明  | 昭和18年3月6日            |
| 井上康文  | 昭和18年3月14日           |
| 小田嶽夫  | 昭和18年3月20、21日 (*)    |
| 野口米次郎 | 昭和18年3月21日 (*)       |
| 南江治郎  | 昭和18年3月21日           |
| 阿部知二  | 昭和18年3月23、24日 (*)    |
| 寒川光太郎 | 昭和18年3月25、27日 (*)    |
| 野口米次郎 | 昭和18年3月27日           |
| 高見 順  | 昭和18年3月27、28日 (*)    |
| 上田 広  | 昭和18年3月28、30日        |
| 山本和夫  | 昭和18年3月30日 (*)       |
| 小田嶽夫  | 昭和18年4月3日 (*)        |
| 玉井政雄  | 昭和18年4月4、6日          |
| 豊田三郎  | 昭和18年4月4、6日 (*)      |
| 大江賢次  | 昭和18年4月7、8日          |
| 北林透馬  | 昭和18年4月7、8日          |
| 野口米次郎 | 昭和18年4月14日 (*)       |

戦ふ詩壇―死んで生きる道を(評)			
辻小説―戦史			
辻小説―街頭に立ちて			
辻小説―子供の世界			
辻小説―信長と秀吉			
辻小説―水兵			
辻小説―血痕海図			
辻小説―手のひら			
戦ふ文学―従軍作家の帰還			
辻小説―船長			
辻詩―太陽の子			
辻詩―建艦			
辻詩―アジアの砦			
辻詩―心の艦隊			
諏訪湖水(随)			
軍人精神(詩)			
大東亜の瞭明			
市から都へ(随)			
春夏(俳)			
武蔵野の八幡宮(俳)			
歴史小説と西暦(評)			
激戦未だ終らず―第二次ブーゲンビル島沖航空戦(詩)			
祖国を憶ふ(随)			
よいかな北九州―銃後の意気(4)			
詩歌物語(2) 上杉謙信(評)			
詩歌物語(27) 乃木大将			
詩歌物語(32) 勝海舟			
無比の正月(詩)			
尾崎喜八	昭	和	18年4月20、22日(*)
火野葦平	昭	和	18年4月24日
戸川貞夫	昭	和	18年4月24日
岡田三郎	昭	和	18年4月27日
土師清二	昭	和	18年4月28日
海野十三	昭	和	18年5月2日
上司小剣	昭	和	18年5月5日
大江賢次	昭	和	18年5月6日
中村光夫	昭	和	18年5月6、7日
豊田三郎	昭	和	18年5月7日
野口米次郎	昭	和	18年5月8日
岩佐東一郎	昭	和	18年5月9日
安藤一郎	昭	和	18年5月11日
岩本修蔵	昭	和	18年5月12日
森川汀川	昭	和	18年5月14日
高村光太郎	昭	和	18年8月22日
斉藤茂吉	昭	和	18年8月27日
矢田挿雲	昭	和	18年8月28日
高浜虚子	昭	和	18年8月29日
水原秋桜子	昭	和	18年8月31日
高木 卓	昭	和	18年11月16日
高村光太郎	昭	和	18年11月12日
棟田 博	昭	和	18年11月30日(*)
火野葦平	昭	和	19年2月15日(*)
田辺耕一郎	昭	和	19年9月7日
松村英一	昭	和	19年10月19日
松村英一	昭	和	19年11月9日
尾崎喜八	昭	和	20年1月1日

〔長編連載小説〕

大閩記

海員

吉川英治  
浜本 浩

昭和18年1月1日 (第1回) 不明  
昭和19年2月15日 (第5回) 不明

『ダバオ新聞』追加分のみ (マニラ市ダバオ)

サイパン血涙

大木惇夫

昭和19年7月27日

『南洋新報』追加分のみ (パラオ島コロール市)

決戦農村をゆく

勇士

その日その日―車内隣組

〔長編連載小説〕

日常の戦ひ

清水 崑  
中村研一  
杉 捷夫

昭和18年12月4日  
昭和18年12月30日  
昭和19年1月22日

石川達三

昭和18年12月4日 (第3回) 不明

以上